

令和3年度の重点取組、重点施策の外部評価の手順について

1 概要

静岡県立中央図書館中期計画 2018-2021 に基づく令和3年度の重点取組（館全体としての取組）及び各班毎の重点施策に対する取組内容や実績等に対して、図書館協議会委員による外部評価を行う。

2 手順

- (1) 重点取組、重点施策に対して、図書館が自己評価を実施
- (2) 協議会当日、図書館が、取組内容や実績及び自己評価を説明
- (3) 協議会当日、委員は、取組内容や実績について協議をし、評価を決定
- (4) 図書館は、評価結果を公表

3 評価の基準

評価	基準
A	目標の達成や施策・事業の展開がよくできた
B	目標の達成や施策・事業の展開がある程度できた
C	目標の達成や施策・事業の展開があまりできなかった
D	目標の達成や施策・事業の展開がほとんどできなかった

令和3年度 静岡県立中央図書館
重点取組・重点施策
評価書

(件名)

令和3年度 重点取組・重点施策について

(県立中央図書館)

1 概要

(1) 重点取組

- ・令和2年度末までに、令和3年度の中央図書館としての重点取組を決定
- ・令和3年度末に自己評価するとともに、図書館協議会において外部評価を実施

(2) 重点施策

- ・令和3年度当初に、その年度の各班ごとの重点施策を決定
- ・令和3年度末に自己評価するとともに、図書館協議会において外部評価を実施

2 令和3年度の基本方針と重点取組

「令和3年度の基本方針と重点取組について」のとおり

3 令和3年度の班別の重点施策

課名	班名	内容
総務課	総務班	利用者が安心して安全に利用できる環境の整備
企画振興課	企画班	新たな講座・イベントの創出及び開催
	振興班	市町立図書館への情報提供
資料課	図書班	書庫の現状把握、狭隘化の解消計画作成。新館に向けての問題点の調査
		子どもコーナー(「どんぐりひろば」)移転に伴う、子ども図書研究室との連携
	新聞雑誌班	所蔵資料の適切な管理・保存
調査課	一般調査班	県民、県内図書館職員、教職員等に向けたレファレンス研修・課題解決支援サービスの充実
	健康医療情報ワーキンググループ(注)	県民に向けた医療健康情報の発信と提供による課題解決支援サービスの充実
	障害者サービス検討プロジェクトチーム(注)	県内の障害者等への資料提供サービス体制の確立
	地域調査班	地域資料の収集と発信
	歴史文化情報センター	県史編さん収集資料の公開・広報・普及

(注)「班」ではなく、全課の職員が参加しているグループ、チームであるが、調査課が統括等になっているため調査課に記載

(件名)

令和3年度の基本方針と重点取組について

(県立中央図書館)

1 当館の基本方針と中期計画

(1) 基本方針

県民の生涯学習の拠点としての図書館
市町立図書館のための図書館 県民の教育及び文化の向上に寄与する
資料情報センターとしての図書館
～県民の「調べる、考える、解決する」を支援する～

(2) 中期計画2018-2021 より身近な図書館へ

【基本的な役割】

県民の力となり、地域の発展に寄与します。

【3つの活動】

県立図書館ならではの資料とサービスを通じて、すべての県民の「知る」「学ぶ」を支えます。
県内図書館サービスの充実のため、県域すべての図書館をつなぎ、支援します。
資料と情報を県民の財産として収集・活用し、未来へつなげます。

2 令和3年度重点取組

(1) 新県立中央図書館整備への対応

- ・社会教育課等と連携し、新県立中央図書館整備に関わる作業を進めます。
- ・職員間で様々な情報を共有して、新館づくりに積極的にに関わり、多くの人々が心から待ち望む新県立中央図書館づくりに取り組みます。
- ・新県立中央図書館へのロードマップ（行程表）作成に向けた情報収集と検討を行います。

(2) 現有施設における最良のサービス展開

- ・施設面・システム等を含め安全・安心な環境整備に配慮します。
- ・現有施設において、新館を見据えつつ、入館者数や貸出数等も意識し、利用者が満足できる各種サービスの改善・向上に取り組みます。
- ・障害があるなどの理由で利用に困難の方に対するサービスの改善・向上に取り組みます。

(3) 職員の資質向上

- ・県立中央図書館職員としての専門性を高め、力量を向上させるため、館内研修の実施及び外部研修への積極的な参加を組織的・計画的に行うとともに、研修報告会や館内・館外の研修・講座の講師を務めることで、その成果の普及を図ります。
- ・館内ワーキンググループや担当職員を中心に、新規事業の立ち上げや従来事業の改革等につながる図書館サービスの研究開発に取り組みます。

(4) 県域全体への広報とサービス向上

- ・当館が県域全体で多くの県民に活用されるよう、県教育委員会や知事部局との連携や支援に努めるとともに、レファレンスサービスや市町立図書館を通じての資料提供などを積極的に広報し、認知度の向上を図ります。
- ・県域サービスの拡充のため、協力貸出及びインターネット予約による市町立図書館等受取りサービスにおいて市町立図書館等とさらなる連携に努めるとともに、県域サービスの充実に向けての、今後の方向性を検討します。

(5) 県内図書館のさらなる活性化への寄与

- ・県内図書館職員の資質向上のため、研修内容の充実や運営手法の工夫に努め、職員研修の充実を図ります。また、研修に参加できなかった県内図書館職員に対しても、可能な限り研修の資料等を提供し、情報の共有を図ります。
- ・市町立図書館の課題解決を支援する要請訪問を実施するとともに、市町立図書館への情報提供の充実を図ります。
- ・県内図書館の振興のため、県図書館協会と連携し、各図書館が協力し合い、本県の図書館活動がさらに活発化するようリードします。

(6) レファレンス・課題解決支援サービスの充実

- ・職員がレファレンス技術の向上に努め、組織全体のスキルを高めることで、レファレンスサービスの充実を図ります。
- ・レファレンス、講座や研修を通じて、県民、県内図書館職員、教職員等に、オンラインデータベース等、多様な情報ツールの活用を促進し、課題解決支援サービスを充実します。
- ・課題解決支援サービスの一つである「健康医療情報サービス」については、館内横断的な組織を中心に、県民の健康・医療に関するニーズに応えることができるよう関係コーナーやWebページ等の充実を図るとともに講演会等の関連事業にも積極的に取り組みます。

(7) 子どもの読書活動推進への寄与

- ・子どもの読書活動を支える方々をはじめ多くの利用者に子ども図書研究室の資料が有効利用されるように選定資料リストの公開、資料の市町立図書館貸出、子ども図書研究室の団体利用促進及び日曜開室の推進等に取り組みます。
- ・子どもの読書活動推進に関する講演会、新刊サロン、新刊児童図書巡回展示研修会の充実を図るとともに児童サービスの講師派遣事業に取り組みます。
- ・新館に向けて、子ども図書研究室の存在を意識した子どもコーナー「どんぐりひろば」の運営に取り組みます。

(8) 専門書を中心とする資料収集と地域資料の充実

- ・一般資料については、専門書を中心に計画的かつ精選した資料収集に努めます。
- ・地域資料については、静岡県内に関連する資料を網羅的に収集することに努めます。
- ・資料費予算の確保に努めるとともに、市町立図書館との役割分担を考慮し、その予算を有効に執行します。

(9) 資料保存と貴重書等のデジタル化の推進

- ・未来の県民のために資料を着実に保存します。また、館外保管している資料の維持管理にも配慮します。
- ・地域資料を含む貴重書等のデジタル化を推進し（ふじのくにアーカイブの充実）、それら資料の利活用の促進に努めます。
- ・資料の修復や保存のための媒体変換（デジタル化ほか）に取り組みます。

(10) 特色ある展示・企画等の実施、葵レク（図書館講座）の充実

- ・外部機関・団体と積極的に連携し特色ある展示を行います。また、団体・個人を問わず、図書館や活字文化の振興を支えてくださる方々と力を合わせて、幅広い分野で協働できるよう努めます。

(11) 県史編さん収集資料の整理及び公開

- ・県史編さん収集資料目録の作成及びデータベース化、「静岡県史」の検索システムへの入力などに計画的に取り組み、公開に向けた作業を進めます。

「新型コロナウイルス感染症」は、「コロナ」に略しています。

令和3年度重点取組評価書	
主担当：企画振興課（企画班）	
(1) 新県立中央図書館整備への対応	
<ul style="list-style-type: none">・社会教育課等と連携し、新県立中央図書館整備に関わる作業を進めます。・職員間で様々な情報を共有して、新館づくりに積極的に関わり、多くの人から待ち望む新県立中央図書館づくりに取り組みます。・新県立中央図書館へのロードマップ（行程表）作成に向けた情報収集と検討を行います。	
自己評価	(内容)
A・B・C・D	<ul style="list-style-type: none">・新館整備に向けて社会教育課と連携した情報共有のための研修を2回実施した。(職員全員参加)・社会教育課からの要請に応じて新館整備に関するワーキングを14回(書面による意見集約を含む)実施した。(今年度発令された社会教育課兼務職員9人が参加)【1月末時点】・管理運営計画に基づく新館移転に係る諸作業の洗い出しを職員全員で行い、ロードマップ検討チームの会議を4回開催したうえで、ロードマップを作成した。・ふじのくにDX推進事業の一環として、図書館DX事業に取り組み「スマホ利用者番号表示」「Web利用者登録」「電子図書館導入」「県内自治体行政資料PDFクロージングシステム開発」を行った。
外部評価	(御意見等)
A・B・C・D	

令和3年度重点取組評価書

主担当：総務課

(2) 現有施設における最良のサービス展開

- ・施設面・システム等を含め安全・安心な環境整備に配慮します。
- ・現有施設において、新館を見据えつつ、入館者数や貸出数等も意識し、利用者が満足できる各種サービスの改善・向上に取り組みます。
- ・障害があるなどの理由で利用に困難の方に対するサービスの改善・向上に取り組みます。

自己評価

(内容)

A・B・C・D

- ・コロナ感染予防対策として、利用者及び職員の安全のために必要な消耗品(アルコール消毒液、検温器付き消毒ディスペンサースタンド、座席用パーティション等)を速やかに購入し環境整備に対応した。
- ・ふじのくにDX推進事業の一環として、図書館DX事業に取り組み「スマホ利用者番号表示」「Web利用者登録」「電子図書館導入」「県内自治体行政資料PDFクロージングシステム開発」を行った。
【再掲】
- ・障害のある方に対するサービスの取組については、今年度新たに編成された「障害者サービス検討プロジェクトチーム」で具体的なサービスの改善や向上について情報収集を行うとともに、マニュアルを作成した。

外部評価

(御意見等)

A・B・C・D

令和3年度重点取組評価書

主担当：企画振興課（企画班）

(3) 職員の資質向上

- ・ 県立中央図書館職員としての専門性を高め、力量を向上させるため、館内研修の実施及び外部研修への積極的な参加を組織的・計画的に行うとともに、研修報告会や館内・館外の研修・講座の講師を務めることで、その成果の普及を図ります。
- ・ 館内ワーキンググループや担当職員を中心に、新規事業の立ち上げや従来事業の改革等につながる図書館サービスの研究開発に取り組みます。

自己評価

(内容)

A・B・C・D

- ・ 著作権実務講習会、障害者サービス講座等、職員の資質向上につなげる外部研修に9研修・延35人が参加した。
- ・ 新館への情報収集を行なうため、オンライン配信の全国図書館大会や図書館総合展、関東甲信越静地区図書館地区別研修等に多くの職員が積極的に参加した。
- ・ 県外視察報告や上記研修の伝達講習を館内研修で実施した。
- ・ レファレンス出前研修5回(うち1回は今後予定)、子ども図書研究室講師派遣5回(うち1回は今後予定)、新刊サロン(Web)5回、レファレンス基礎研修(集合及びWeb)、レファレンス応用研修(Web)等の講師を務めた。
- ・ 健康医療情報サービスWG、障害者サービス検討PT、新館ロードマップ検討チーム、システム基本構想検討チームといった館内ワーキンググループを設置し、新規事業の立ち上げや従来事業の改革等につながる図書館サービスの研究開発に取り組んだ。
- ・ 司書育成指針を効果的に運用するためにチームを立ち上げて、今後の司書育成の在り方を検討した。

外部評価

(御意見等)

A・B・C・D

令和3年度重点取組評価書

主担当：企画振興課

(4) 県域全体への広報とサービス向上

- ・当館が県域全体で多くの県民に活用されるよう、県教育委員会や知事部局との連携や支援に努めるとともに、レファレンスサービスや市町立図書館を通じての資料提供などを積極的に広報し、認知度の向上を図ります。
- ・県域サービスの拡充のため、協力貸出及びインターネット予約による市町立図書館等受取りサービスにおいて市町立図書館等とさらなる連携に努めるとともに、県域サービスの充実に向けての、今後の方向性を検討します。

自己評価

(内容)

A・B・C・D

- ・知事部局と連携し、県民文芸：その記憶をたどる(文化政策課)、未来を切り拓く Dream 授業：中学生の考えるミライとは(総合教育課)、あいのうた～出会いから子育てまでの短歌コンテスト～展示(子ども未来課)、6R 展示(廃棄物リサイクル課)、生命のメッセージ展(くらし交通安全課)等の展示を実施した。
- ・令和3年4月からインターネット予約貸出の市町立図書館等受取館を14館から15館へ1館追加しサービスを拡大した。
- ・SNSを活用して、即時性のある情報発信を積極的に実施した。

外部評価

(御意見等)

A・B・C・D

令和3年度重点取組評価書

主担当：企画振興課

(5) 県内図書館のさらなる活性化への寄与

- ・県内図書館職員の資質向上のため、研修内容の充実や運営手法の工夫に努め、職員研修の充実を図ります。また、研修に参加できなかった県内図書館職員に対しても、可能な限り研修の資料等を提供し、情報の共有を図ります。
- ・市町立図書館の課題解決を支援する要請訪問を実施するとともに、市町立図書館への情報提供の充実を図ります。
- ・県内図書館の振興のため、県図書館協会と連携し、各図書館が協力し合い、本県の図書館活動がさらに活発化するようリードします。

自己評価

(内容)

A・B・C・D

- ・コロナ禍の中、県内図書館職員研修を集合型で6件、オンライン(ライブ)で3件、集合型とオンライン(ライブ)のハイブリッドで1件、動画視聴(オンデマンド)で2件、集合型と動画視聴(オンデマンド)の併用で1件実施し、延べ414人・総再生回数861回の受講を得た。受講者アンケートの結果、有益度4.65、理解度4.47(5段階評価で基準は3)と好評を博した。以上の他に集合型またはオンライン(ライブ)研修を収録した動画を公式YouTubeチャンネルで限定公開し、県内図書館職員全体の資質向上に努めた。【1月末時点】
- ・清水町立図書館(令和2年7月新館開館)の図書館運営委員会委員に振興班長代理が就任し、静岡県内の図書館の状況について説明を行うとともに、運営に関する助言を行った(7/16,3/11開催予定)。
- ・御殿場市に対しては、御殿場市プロポーザル審査委員会の委員に館長が就任し、審査を行った。(7/15,11/17)
- ・牧之原市立図書交流館(4/17リノベーション施設に移転開館)に対しては、開館後のサービスや式典、相互貸借等に関する運営相談に対応した。
- ・ホームページから市町立図書館の情報を収集し、県内図書館情報共有システムを通じて発信した。基本的には月1回、緊急事態宣言時は発出・延長・終了時に提供した。市町立図書館からは、県内の情報が簡易に入手でき、各自治体の対策本部への説明もしやすいと大変好評だった。

外部評価

(御意見等)

A・B・C・D

令和3年度重点取組評価書

主担当：調査課（一般調査班）

(6) レファレンス・課題解決支援サービスの充実

- ・職員がレファレンス技術の向上に努め、組織全体のスキルを高めることで、レファレンスサービスの充実を図ります。
- ・レファレンス、講座や研修を通じて、県民、県内図書館職員、教職員等に、オンラインデータベース等、多様な情報ツールの活用を促進し、課題解決支援サービスを充実します。
- ・課題解決支援サービスの一つである「健康医療情報サービス」については、館内横断的な組織を中心に、県民の健康・医療に関するニーズに応えることができるよう関係コーナーやWebページ等の充実を図るとともに講演会等の関連事業にも積極的に取り組みます。

自己評価

(内容)

A・B・C・D

- ・レファレンス技術取得に向け、国立国会図書館レファレンスサービス研修に応募したが抽選の結果落選し参加できなかった。
- ・調査に一定以上の時間がかかったレファレンスや、良く聞かれる質問は、館内図書館システムに積極的に登録し、事例を蓄積することにより職員のレファレンス技術の向上、類似事例への調査時間の短縮、回答のばらつき防止に役立った。
- ・コロナのため県内公共図書館職員向けの研修は1回を除き、動画配信で行った。動画による受講では時間や場所を問わず受講できる、繰り返し視聴が可能なため自分のペースで学べると好評であったが、演習については集合研修での実施を望む声があった。
- ・総合教育センターで教職員対象の著作権研修を集合型で1回、オンラインで1回実施した。同講座内のPC操作の伴うインターネットを利用した情報検索講座はコロナのため中止となった。
- ・出前研修は希望図書館の5館(うち1館はWeb)で実施することで、互いに研鑽する機会となった。また、県民向けのオンラインデータベース活用講座はコロナのため中止となった。
- ・閲覧室にある健康医療情報コーナーで月毎のテーマ展示を行い関連資料の展示と資料リストの配布を行った。県民向けの女性に関連するがん情報の講演会を行った。

外部評価

(御意見等)

A・B・C・D

令和3年度重点取組評価書

主担当：資料課（図書班）

(7) 子どもの読書活動推進への寄与

- ・子どもの読書活動を支える方々をはじめ多くの利用者に子ども図書研究室の資料が有効利用されるように選定資料リストの公開、資料の市町立図書館貸出、子ども図書研究室の団体利用促進及び日曜開室の推進等に取り組みます。
- ・子どもの読書活動推進に関する講演会、新刊サロン、新刊児童図書巡回展示研修会の充実を図るとともに児童サービスの講師派遣事業に取り組みます。
- ・新館に向けて、子ども図書研究室の存在を意識した子どもコーナー「どんぐりひろば」の運営に取り組みます。

自己評価

(内容)

A・B・C・D

- ・児童資料の全点を収集し、『子ども図書研究室だより』（年3回刊行）、選定資料リスト（ホームページ掲載）等の情報提供をした。
- ・日曜日午後に、子ども図書研究室案内ツアー（15分程度）を実施、また、新刊サロンの配信動画内でも子ども図書研究室のPRを行った。
- ・講演会はコロナの影響で、動画配信で行った（再生回数1,010回）。新刊サロンは4回動画配信で実施し、概ね好評であった。第5回も動画配信で今後実施予定である。巡回展示は西部、中部の2か所で、当館職員による新刊紹介を短時間で開催した。講師派遣は予定していた6回のうち4回実施し（うち1回はZoom）、1回はコロナのため中止となった。残り1回は2月に実施予定である。
- ・新刊サロンの動画配信を周知するため、二次元コードをどんぐりひろばに掲示した。時季を先取りした子ども図書研究室の展示を活かして、どんぐりひろばの展示を行った。職員や読み聞かせサポーターが、どんぐりひろばのおはなし会を実施するために、子ども図書研究室を活用した。

外部評価

(御意見等)

A・B・C・D

令和3年度重点取組評価書

主担当：資料課、調査課（地域調査班）

(8) 専門書を中心とする資料収集と地域資料の充実

- ・一般資料については、専門書を中心に計画的かつ精選した資料収集に努めます。
- ・地域資料については、静岡県内に関連する資料を網羅的に収集することに努めます。
- ・資料費予算の確保に努めるとともに、市町立図書館との役割分担を考慮し、その予算を有効に執行します。

自己評価

(内容)

A・B・C・D

- ・図書購入費は昨年度に比較して、約940万円程度減額となったが、専門書を中心に全分野で可能な限り精選して収集した。
- ・市町立図書館からの購入リクエストは、78件受付、うち71件を購入してできる限り対応した。3つの基本方針のひとつである「市町立図書館のための図書館」としての機能を果たした。
- ・一昨年度から収集を始めた、静岡県出身者による静岡県が舞台の漫画について、今年度も引き続き該当資料の調査及び保存用資料の収集を行った。

外部評価

(御意見等)

A・B・C・D

令和3年度重点取組評価書

主担当：調査課

(9) 資料保存と貴重書等のデジタル化の推進

- ・未来の県民のために資料を着実に保存します。また、館外保管している資料の維持管理にも配慮します。
- ・地域資料を含む貴重書等のデジタル化を推進し(ふじのくにアーカイブの充実) それら資料の利活用の促進に努めます。
- ・資料の修復や保存のための媒体変換(デジタル化ほか)に取り組みます。

自己評価

(内容)

A・B・C・D

- ・資料の保存と利活用のため、久能文庫資料4タイトル(354点)について、デジタル化、マイクロフィルム化を行った。また、デジタル化した貴重資料について損傷状況を調査し、長期的に修復を計画し、今年度は損傷の激しい葵文庫資料27タイトルの修理を行った。
- ・外部保管している資料については、自動除湿器を設置し、常時適切な湿度管理を行うことによって、良好な保管状況を確保した。
- ・国文学研究資料館に『厚生新編』などの当館が所蔵している貴重書や古文書のデジタル画像を提供し、利活用の促進に努めた。
- ・『庵原郡各町村形勢一斑』等の205件約4,672コマをデジタル化し公開した(3月見込み)。

外部評価

(御意見等)

A・B・C・D

令和3年度重点取組評価書

主担当：企画振興課（企画班）

(10) 特色ある展示・企画等の実施、葵レク（図書館講座）の充実

- ・外部機関・団体と積極的に連携し特色ある展示を行います。また、団体・個人を問わず、図書館や活字文化の振興を支えてくださる方々と力を合わせて、幅広い分野で協働できるよう努めます。

自己評価

（内容）

A・B・C・D

- ・諸団体との連携展示を計 17 回実施した。（展示室5回、インフォメーションホール7回、閲覧室2回、総合案内カウンター前3回）
- ・コロナ禍の中、公式 YouTube チャンネルを活用した Web 配信により、子ども図書研究室講演会や新刊サロンを実施した。また、集合型により株式会社タミヤと協働してロボットプログラミング教室を開催した。
- ・上記の他、一般社団法人草薙カルテッドと協働して“文化の丘マルシェ”を開催した。この影響により、当日は多数の来館者があった。また、県スポーツ・文化観光部と協働して、グランシップ広場にてSDGs に関する“お楽しみぶっくる”を実施した。

外部評価

（御意見等）

A・B・C・D

令和3年度重点取組評価書

主担当：調査課（歴史文化情報センター）

(11) 県史編さん収集資料の整理及び公開

- ・県史編さん収集資料目録の作成及びデータベース化、「静岡県史」の検索システムへの入力などに計画的に取り組み、公開に向けた作業を進めます。

自己評価

(内容)

A・B・C・D

- ・県史情報と県史収集資料目録を177件作成した。
 - ・インターネット目録公開資料の許可を169件得た。
(そのうち1件の画像公開承諾を得た。)
- 【1月末現在】

外部評価

(御意見等)

A・B・C・D

「新型コロナウイルス感染症」は、「コロナ」に略しています。

令和3年度重点施策調書	
(総務)課(総務)班	
中期計画の位置付け	1-3 あらゆる関心層の県民に図書館をアピールします
館の重点取組	(2)現有施設における最良のサービス展開
参考：事業体系の位置付け	閲覧室内の良好な読書環境の維持
重点施策・事業名	利用者が安心して安全に利用できる環境の整備
現状・課題	建築から52年経過した施設であるため老朽化による不備が著しく、配管類の故障や空調の不具合が頻繁に発生する。その都度、必要最低限の修繕を行っているが、新館の整備計画案が具体的になり、抜本的な改修工事は望めない。
施策の目的・内容・方向性・計画等	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安全を第一に考え、危険箇所の減少に努める。昨年度、子どもコーナーも新設されたため、児童等の利用者も安全に利用できる環境を整備する。 ・施設・設備の不具合が発生した場合、またそれに伴う修繕工事等を行う場合は、職員掲示板等により、情報を職員間で速やかに共有する。
達成目標 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者、職員の安全・安心な環境の提供 ・施設・設備の不具合による事故の件数0件
備考	

令和3年度重点施策評価書	
総務課 総務班	
自己評価	<p>(目標に対する実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月に一度、施設内の安全点検を全職員で分担して実施し、危険箇所の早期発見に努めた結果、施設設備の不良による事故はなかった。 ・閲覧室等照明器具取替えや講堂の非常口扉修繕を行った。 ・コロナ対策が継続されているため、検温器付き消毒ディスペンサースタンドの追加購入や、閲覧室座席に設置するパーティションを購入するなど、利用者が安心して安全に利用できるよう環境整備を行った。 <p>(今後の方向性・分析等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も、老朽化による施設の不具合が出ることは予想されるが、予算の範囲内で、その都度、利用者・職員の安全を最優先に対応する。
外部評価	(御意見等)
A・B・C・D	A・B・C・D

令和3年度重点施策調書	
(企画振興)課(企画)班	
中期計画の位置付け	1 県立図書館ならではの資料とサービスを通じて、すべての県民の「知る」「学ぶ」を支えます
館の重点取組	(10)特色ある展示・企画等の実施、葵レク(図書館講座)の充実
参考：事業体系の位置付け	図書館講座「葵レク」等の開催
重点施策・事業名	新たな講座・イベントの創出及び開催
現状・課題	現状 ・特に葵レクの講座・イベントが固定化している。 課題 ・講座・イベントのパターン化から一歩踏み出すことで、県民に対する図書館理解のより一層の拡大と充実を図る必要がある。
施策の目的・内容・方向性・計画等	<ul style="list-style-type: none"> ・従来の葵レク等を維持した上で、県立図書館の可能性を拡げる効率的かつ効果的な新しい講座・イベントを創出する。 ・新たな講座・イベントを開催することによって非来館者が来館する動機付けとし、その後の図書館利用に繋げていく。
達成目標 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・県立図書館にとって従来にない講座・イベントを年度内に1件以上実施する。 (図書館新規利用者の掘り起こし)
備考	

令和3年度重点施策評価書	
企画振興課 企画班	
自己評価	(目標に対する実績) <ul style="list-style-type: none"> ・当館独自イベントとして、スマホ・タブレットお助け講座を実施した(事前申込不要で、来館者の質問に対して常駐する職員が説明する方式、6/18実施、利用者4人)。 ・株式会社タミヤと協働してロボットプログラミング教室を開催した(7/11、11/27、11/28の3日間で全9回実施、申込者277人、参加者100人)。 ・一般社団法人草薙カルテッドと協働して文化の丘マルシェを開催した(10/31実施、来場者約1,500人)。 ・県スポーツ・文化観光部企画政策課の東静岡駅南口県有地活用実証実験「ヒガナンに、おいでよ！」にて「お楽しみぶっくる」で協力した(11/27~11/29)。 ・上記の他にも様々な新しい講座やイベントの開催を試みたが、コロナ拡大防止のため実施に至らなかった事業もあった。
A・B・C・D	(今後の方向性・分析等) <ul style="list-style-type: none"> ・好評であった上記の講座・イベントを協働した各関係機関との連携を大切に、次年度以降についてもより一層発展したかたちで事業を推進する。 ・今年度は計画のみで開催に至らなかった事業についても、今後開催する方向で関係機関と調整をすすめる。
外部評価	(御意見等)
A・B・C・D	

令和3年度重点施策調書	
(企画振興)課(振興)班	
中期計画の位置付け	2-1 市町立図書館とのネットワークをさらに充実させます
館の重点取組	(5)県内図書館のさらなる活性化への寄与 ・市町立図書館の課題解決を支援する要請訪問を実施するとともに、市町立図書館への情報提供の充実を図ります。
参考：事業体系の位置付け	市町立図書館運営の援助
重点施策・事業名	市町立図書館への情報提供
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症については、刻々と状況が変化し、その時々で必要となる情報が変わる。国や県、日本図書館協会等が情報発信をしているが、市町立図書館には遅れたり届かなかったりすること多い。 ・サービスや運営の面で、他自治体の図書館の情報を必要とするが、情報収集の手段が限られている。
施策の目的・内容・方向性・計画等	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における優れたサービスについて、情報を収集し、提供する ・協力車訪問や地域館・分館訪問を中止した際は、電話をかけ、各館の状況について確認するとともに、運営相談や必要な支援について聞き取りを行う。 ・毎月1回、市町立図書館中央図書館のサービス提供状況を調査し、おうだんくんを通じて提供する。 ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用事例やサービス提供状況について調査し、記録を残す。(静岡県図書館協会会報等)
達成目標 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・市町立図書館のサービス提供状況の調査、情報提供 月1回 ・運営相談件数 200件以上 (優れた実績を活用することによる、各市町立図書館の利用者満足度の向上)
備考	・協力車訪問における情報提供や聞き取り調査結果の提供は、継続して実施する。

令和3年度重点施策評価書	
企画振興課 振興班	
自己評価	(目標に対する実績) <ul style="list-style-type: none"> ・三島市・沼津市・静岡市の各図書館のコロナ禍に対応した優れたサービスについて、静岡県図書館大会で事例発表をいただくことで、サービスを止めないことの大切さについて広く周知することができた。 ・コロナ拡大防止対策やイベント等の再開、サービス提供状況に関する情報を、協力車訪問や各館のWebチェックを通じて積極的に収集・伝達した。(1月末現在：運営相談325件、県内図書館情報共有システムを通じた情報提供を241件)。特に市町立図書館のサービス提供状況については、月1回の提供のほか、まん延防止等重点措置の適用や緊急事態宣言時など、状況の変化に合わせて調査と情報提供を行った ・緊急事態宣言で協力車訪問が中止となった9月は、訪問予定だった全ての図書館に電話連絡し、運営相談に対応した。 ・図書館等による図書館資料のメール送信等の関係機関による検討状況など、最新課題についての情報提供を行った。
A・B・C・D	(今後の方向性・分析等) <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍や悪天候により計画どおりに協力車訪問を行うことができない事案が発生していることから、Zoomや電話など、訪問にこだわらない、かつ市町立図書館が利用しやすい運営相談の手法を検討する。
外部評価	(御意見等)
A・B・C・D	

令和3年度重点施策調書	
(資料)課(図書)班	
中期計画の位置付け	3 資料と情報を県民の財産として収集・活用し、未来へつなげます
館の重点取組	(2)現有施設における最良のサービス展開
参考：事業体系の位置付け	資料の利用促進
重点施策・事業名	書庫の現状把握、狭隘化の解消計画作成。新館に向けての問題点の調査
現状・課題	ヒビ割れ改修工事の際、床の負担を軽減するため、図書約20万冊を外部保管し閲覧室の資料を書庫に収めたが、すでに書庫の狭隘化が進んでいる。
施策の目的・内容・方向性・計画等	新館への移転までの間、適切に資料を保存・提供できるよう書庫の実態調査、それに合わせた書庫の移動計画作成する。また、新館移転の際の書庫の必要面積、棚数、使用計画と、細分化している資料種別にどう対応するか検討していく。
達成目標 (期待される効果)	書庫の実態調査とそれに合わせた移動計画作成。
備考	

令和3年度重点施策評価書	
資料課 図書班	
自己評価	(目標に対する実績) ・館内書庫の調査を行い、今後、新館ができるまでの5年間、書庫1では当館の資料は収容しきれないことが分かった。このため、館内移動と外部保管を検討した結果、外部保管することなく、書庫11の活用により、資料を館内で保管・提供できる移動計画作成することができた。
A・B・C・D	(今後の方向性・分析等) ・資料を別の書庫や同一書庫内の別の棚への移動は、多くの人工数が必要なため、実施方法について検討する。
外部評価	(御意見等)
A・B・C・D	

令和3年度重点施策調書	
(資料)課(図書)班	
中期計画の位置付け	1 県立図書館ならではの資料とサービスを通じて、すべての県民の「知る」「学ぶ」を支えます
館の重点取組	(7)子どもの読書活動推進への寄与
参考：事業体系の位置付け	資料の利用促進
重点施策・事業名	子どもコーナー(「どんぐりひろば」)移転に伴う、子ども図書研究室との連携
現状・課題	子どもコーナー(「どんぐりひろば」)の利用者は増加傾向だが、子ども図書研究室の利用は少ない。
施策の目的・内容・方向性・計画等	子どもコーナー(「どんぐりひろば」)の利用者を子ども図書研究室につなげられるよう、案内ツアーの内容を精査、また、SNSや各種研修会等の機会を利用して積極的に広報を行う。
達成目標 (期待される効果)	子ども図書研究室関連事業の利用増加。
備考	

令和3年度重点施策評価書	
資料課 図書班	
自己評価	(目標に対する実績) <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究室講演会は動画配信で行い、再生回数は1,010回であった。(前年度720回) ・ 新刊サロンも全て動画配信で行い、3回目までの動画再生回数は合計2,212回であった。第4回を配信中、第5回は2月25日から配信する予定であり、合計は前年度を若干上回る見込みである。(前年度3,639回)また、子ども図書研究室の紹介動画を作成し、新刊サロンのあとに視聴できるようにした。 ・ 新刊児童図書巡回展示研修会は、中部、西部の2か所で開催し、79人が参加した。(前年度77人) ・ 日曜日午後に、子ども図書研究室案内ツアー(15分程度)を5回実施し、9人が参加した。(前年度4回実施参加者5人) ・ 講師派遣事業、新刊巡回展示研修会等、研究室のメインターゲットが集まる研修会で積極的に研究室の広報に努めた。
A・B・C・D	(今後の方向性・分析等) <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在コロナ対策により、団体利用の人数制限等使いづらくなっている。 ・ 新刊巡回展示などへの申込みなどを見ると、県内に子ども図書研究室に対する需要はあるはずなのだが、実際の利用には至っていない。 ・ 立地の問題の解決は難しいが、開室時間、利用の内容等、改善できる点を検討する。 ・ 子ども図書研究室ツアーは利用実績が少ないため、次年度以降は新たな取組を行う。
外部評価	(御意見等)
A・B・C・D	

令和3年度重点施策調書	
(資料)課(新聞雑誌)班	
中期計画の位置付け	3 資料と情報を県民の財産として収集・活用し、未来へつなげます
館の重点取組	(9)資料保存と貴重書等のデジタル化の推進
参考：事業体系の位置付け	新聞、雑誌等の逐次刊行物の収集、整備
重点施策・事業名	所蔵資料の適切な管理・保存
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・書庫4内雑誌の別置 ・地域雑誌複本の未整理
施策の目的・内容・方向性・計画等	<ul style="list-style-type: none"> ・書庫4内雑誌の点検移動を進め(他の書庫への移動も検討)、別置の解消及び表示の再整理を実施 ・地域雑誌の複本の確認を進め、廃棄を実施
達成目標 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・書庫移動計画作成 ・書庫出納の省略化
備考	

令和3年度重点施策評価書	
資料課 新聞雑誌班	
自己評価	(目標に対する実績) <ul style="list-style-type: none"> ・書庫4の狭隘化を解消するため、今年度以降実施する他の書庫への移動計画を作成した。 ・この計画に基づき、今年度は書庫7から館内のマイクロ写真室に一部のタイトルを移動し、書庫4から移動する雑誌のスペースを確保した。 ・地域雑誌の複本の確認を進め、複本の一部を廃棄した。 ・上記取組を実施したが、書庫出納の省略化に繋がる書庫4の別置の解消にまでは至らなかった。
A・B・C・D	(今後の方向性・分析等) <ul style="list-style-type: none"> ・書庫4内の狭隘化と別置の解消は喫緊の課題であるため、今年度作成した移動計画に基づき、館内他課との調整をしながら、計画的に作業を進める。
外部評価	(御意見等)
A・B・C・D	

令和3年度重点施策調書	
(調査)課(一般調査)班	
中期計画の位置付け	2 県内図書館サービスの充実のため、県域すべての図書館をつなぎ、支援します
館の重点取組	(6)レファレンス・課題解決支援サービスの充実
参考：事業体系の位置付け	オンラインデータベースの利用促進 レファレンス基礎研修・応用研修(初任者・中堅職員対象) 大学・専門図書館との連携
重点施策・事業名	県民、県内図書館職員、教職員等に向けたレファレンス研修・課題解決支援サービスの充実
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> 県内図書館職員を対象に基礎研修、応用研修、出前研修を、静岡県視覚障害者情報センターと連携して音訳点訳講座を、利用者を対象にオンラインDB講座を行っている。 県内図書館職員を対象にした研修では、図書館職員が置かれている状況や課題、図書館職員のニーズ等を把握したうえで、研修内容を絶えず更新していくことが求められる。 研修を担当する当館職員の指導力、発信力の向上。 県立図書館が課題解決支援に役立つ機関であることが県民に知られていない。
施策の目的・内容・方向性・計画等	<p>(1) 研修の充実 昨年度等の参加者アンケートの結果等を踏まえ、研修の内容を更新し、充実させる。出前研修については当館で用意した研修メニューを基本とするが、依頼館の要望にもできるだけ対応する。</p> <p>(2) 総合教育センターでの教職員を対象とした研修として、著作権講座及びインターネットを利用した情報検索講座等を実施する。</p> <p>(3) 研修を実施する職員の資質の向上 積極的に研修に参加し、新しい情報や技術、知識の習得に努める。</p>
達成目標 (期待される効果)	<p>(1) 県内図書館職員等のレファレンス技術の向上 (研修受講者アンケートの理解度及び有益度5段階の3.5以上)</p> <p>(2) 図書館の課題解決支援の認知度の向上 (レファレンス件数及びオンラインデータベースの利用件数の増加)</p>
備考	

令和3年度重点施策評価書	
調査課 一般調査班	
自己評価	<p>(目標に対する実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内図書館職員等のレファレンス技術の向上 本年度は、レファレンス研修の基礎4回のうち1回のみは集合で行ったが、それ以外の3回と応用研修は全て動画配信となった。アンケート結果の有益度は平均すると5段階中4.7程度であった。理解度も平均4.2以上であった。 出前研修は11月～2月に5館で実施し、その内1館はオンラインで実施した。またコロナのため、1館は中止となった。 図書館の課題解決支援の認知度の向上 レファレンス件数4,567(書誌2,476/所蔵2,091)であり、今年度の件数を過去2年度と比較すると令和元年度よりは増加したが、令和2年度より減少した。オンラインデータベースは4月から新たに2つのDBを追加し、利用回数は昨年度に比べ増加した。総合教育センターで教職員対象の著作権研修を集合型で1回、オンラインで1回実施した。インターネットを利用した情報検索講座はコロナのため中止となった。
A・B・C・D	<p>(今後の方向性・分析等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修の充実 レファレンス研修(基礎・応用)については基本的な流れは踏襲しつつ、アンケートを参考に研修の流れを見直し、内容を更新する。集合研修を基本とするが、遠方の図書館等からはWeb受講を望む声もあるので、動画の活用も検討する。 学校図書館における情報リテラシー教育の支援を目的に行う総合教育センターでの教職員対象の研修は、図書館と学校をつなげる貴重な機会の1つでもあるので、今後も推進する。 上記の研修を実施するためには職員の資質の向上が必須である。積極的に研修に参加し、新しい情報や技術、知識の習得に努める。
外部評価	(御意見等)
A・B・C・D	

令和3年度重点施策調書	
(調査)課(一般調査班・健康医療情報ワーキンググループ)	
中期計画の位置付け	1 県立図書館ならではの資料とサービスを通じて、すべての県民の「知る」「学ぶ」を支えます
館の重点取組	(6)レファレンス・課題解決支援サービスの充実
参考：事業体系の位置付け	課題解決支援(健康医療情報の提供)
重点施策・事業名	県民に向けた医療健康情報の発信と提供による課題解決支援サービスの充実
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決支援の拡充を目的に健康医療情報コーナーの充実を図っている。 ・講師を招いての「健康医療情報講演会」の開催。 ・「がん情報ギフト」の市町図書館への提供。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康医療に関するレファレンス業務を充実させるための調査課との連携。 ・課題解決支援のために静岡県立中央図書館が健康医療情報の充実を図っている機関であることが県民に知られていない。
施策の目的・内容・方向性・計画等	<p>(1)継続的な情報提供 「健康医療情報コーナー」及び「がん情報コーナー」の資料の充実と、利用者の課題解決支援につながる配架や展示を中心に情報提供を継続的に行う。</p> <p>(2)県民への幅広い支援を目的に「出張図書館」「まちの保健室」「医療情報キホン勉強会」「健康医療情報講演会」「がん情報ギフトの提供」を実施する。</p> <p>(3)情報発信の強化 新規に契約したオンラインデータベースの利用促進やSNSを使用しての情報発信を継続的に行う。</p>
達成目標 (期待される効果)	<p>(1)県民への各支援事業の充実 (アンケートの満足度・有益度5段階の3.5以上)</p> <p>(2)課題解決支援の認知度の向上 (レファレンス件数及びオンラインデータベースの利用件数の増加)</p>
備考	

令和3年度重点施策評価書	
調査課 一般調査班・健康医療情報ワーキンググループ	
自己評価	(目標に対する実績) <ul style="list-style-type: none"> ・本年度もコロナ拡大のため、「出張図書館」「まちの保健室」「医療情報キホン勉強会」が中止となり実施できなかった。 ・「健康医療情報講演会」は、女性に関連するがん情報の内容で行った。 ・「健康医療情報コーナー」及び「がん情報コーナー」による情報提供を継続的に行った。また、「特集展示」として月ごとのテーマを設定し、関連資料の配架と貸出を行った。 ・協力車を利用して、「がん情報ギフト」未配置の図書館を中心にPRを行った。 ・情報発信によるオンラインデータベースの利用促進につなげることができなかった。
A・B・C・D	(今後の方向性・分析等) <ul style="list-style-type: none"> ・これまでは医療関係機関等と連携したイベントを通して当館の健康医療情報資料を基にした支援に繋がってきたが、コロナの拡大により連携が思うようにとることができず、満足する県民支援ができなかった。そのため、医療機関や他県等が行っている健康医療情報関連の取組についての情報を再度収集し、県民の課題解決のための支援を行う。情報発信の方法についても同様に収集し、新たな手段を確立する。 ・「健康医療情報コーナー」及び「がん情報コーナー」については継続して情報提供を行う。
外部評価	(御意見等)
A・B・C・D	

令和3年度重点施策調書	
(調査)課(障害者サービス検討プロジェクトチーム)	
中期計画の位置付け	1 県立図書館ならではの資料とサービスを通じて、すべての県民の「知る」「学ぶ」を支えます
館の重点取組	(2)現有施設における最良のサービス展開
参考：事業体系の位置付け	ユニバーサルデザインを配慮した利用の促進
重点施策・事業名	県内の障害者等への資料提供サービス体制の確立
現 状 ・ 課 題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 拡大読書器や音声読書器等の提供や大活字本、朗読CDの収集と提供 ・ 静岡県視覚障害者情報支援センター主催による音訳点訳ボランティア養成講座の実施 ・ 郵送貸出の実施 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当館における業務マニュアルの作成 ・ 障害者別利用者登録や郵送関連の登録 ・ 静岡県視覚障害者情報支援センターとの連携
施策の目的・内容・方向性・計画等	<p>(1)県立図書館としての役割把握 県立図書館としての県民サービス及び市町図書館支援の役割について情報収集する。</p> <p>(2)障害者等サービスにおける県立中央図書館の実態把握 「施設や設備」「障害者サービス用資料の収集及びサービスの提供」「館内規定及び業務マニュアル等の修正と作成」「Webサイトや広報による情報発信」「職員の資質向上のための研修会の開催」について、当館の支援体制の実態把握及び優先すべき業務の決定。</p> <p>(3)優先業務の改善及びマニュアルのための情報の整備 現有施設の現状を踏まえ、優先すべき業務の改善と情報共有及び障害者等サービスの業務マニュアルを作成するための必要情報を整備する。</p>
達成目標 (期待される効果)	<p>(1)障害者等サービスマニュアルのための情報を整備する</p> <p>(2)職員研修を通してサービス方法等の情報を共有する (障害者等サービスの実態と支援方法等を職員に周知する)</p>
備 考	

令和3年度重点施策評価書	
調査課 障害者サービス検討プロジェクトチーム	
自己評価	<p>(目標に対する実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「障害者サービス担当職員向け講座」に参加した職員や愛知県図書館や枚方市立図書館に協力を仰ぎ、各館のマニュアルや規定を参考に、現有館でサービス可能なサービスについて内容を整理し、現有館におけるマニュアルの作成をした。 ・ マニュアル作成後、障害者サービスの実態と来年度からのサービスについて職員への周知を行った。
A・B・C・D	<p>(今後の方向性・分析等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サピエ図書館と国立国会図書館の視覚障害者等用データ送信サービスに登録し、視覚障害者向けサービスの充実を図る。 ・ 障害者サービスに関する研修を受講するとともに、当館職員向け研修を計画的に行い、情報の共有を図る。 ・ 新館開館時に向けたサービス内容を検討する。
外部評価	(御意見等)
A・B・C・D	

令和3年度重点施策調書	
(調査)課(地域調査)班	
中期計画の位置付け	3 資料と情報を県民の財産として収集・活用し、未来へつなげます
館の重点取組	(8)専門書を中心とする資料収集と地域資料の充実 (9)資料保存と貴重書等のデジタル化の推進
参考：事業体系の位置付け	地域資料の収集、整備 貴重図書資料のデジタル化等による利用促進 地域資料・雑誌の書誌情報提供
重点施策・事業名	地域資料の収集と保存
現状・課題	現状：行政資料及び県内各機関刊行物の収集、県内各関係資料の収集を能動的に行っている。 課題：行政資料や各機関刊行物は、紙媒体ではなくPDFなどの資料が増えてきているため、その収集方法の検討や登録、発信が課題である。 劣化の進みつつある一般視聴覚資料の中に、地域資料として保存すべきものが存在する。
施策の目的・内容・方向性・計画等	<ul style="list-style-type: none"> ・県民の多種多様な興味・関心に応える地域資料の充実を図るために、収集体制の強化と方法(基準)の検討を行う。 ・地域に関する一般視聴覚資料のリスト化、著作権についての調査等を行う。 ・「静岡県内住宅地図」などの二次資料の改訂を行う。 ・地域特集展示の棚を活用して、地域資料のPRを進める。 ・県内の刊行物が効率的に集まるシステムの構築(寄贈依頼方法やPR方法、納本制度など)について、継続して検討する。 ・県及び市町のWEBサイトでPDFにより公開されている行政資料のより効果的な収集方法、登録方法について検討する。
達成目標(期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資料の受入数の増加。 ・地域資料・貴重資料の修理保全・デジタル化による地域資料の永年保存化。 ・二次資料の作成、展示等の工夫による地域資料の活用の増加。
備考	

令和3年度重点施策評価書	
調査課 地域調査班	
自己評価	(目標に対する実績) <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染拡大のため出版点数が減少している中、古書等の選書を積極的に行い、本年度の受入数は、昨年度受入数同様の約2,500件となった。 ・収集を決定した県内団体等の主催する文学賞や出版に関する賞の受賞作品について、今年度から静岡書店大賞受賞作品の収集を開始した。 ・デジタルアーカイブに352件を登録した。 ・昨年度媒体変換を行ったVHS、カセットテープ、スライド等145件の視聴覚資料を登録し、引き続きリスト化を行う(3月末まで)。また著作権については来年度行う。 ・地形図の更新に伴い、「地形図目録」と「住宅地図目録」を3年ぶりに更新し、利用者が自由に利用できるよう閲覧室に配架するとともに、カウンターにも配架した。 ・県及び市町のWebサイトで公開されている行政資料PDFの収集システムの開発を行った。 ・特別取扱資料について、今後の保存や修繕の計画に資するための劣化度調査を行った。 受入数、登録数等は3月見込みを含む。
A・B・C・D	(今後の方向性・分析等) <ul style="list-style-type: none"> ・県民の多種多様な興味・関心に応えるために引き続き地域資料の情報収集と資料収集に努める。 ・劣化度調査に基づき、保存や修繕、デジタル化を計画的に行い、新館への移転に備える。 ・直接来館できない方への活用にも寄与するために、特別取扱資料以外の地域資料についても自館でのデジタル化を継続して行う。 ・利用者層の拡大を図るためにも学校図書館と連携、二次資料の利用等を検討する。 ・Web上の行政資料の効率的な収集及び登録方法について、今後も検討する。
外部評価	(御意見等)
A・B・C・D	

令和3年度重点施策調書	
(調査)課(歴史文化情報センター)	
中期計画の位置付け	3 資料と情報を県民の財産として収集・活用し、 未来へつなげます 3-3 資料・情報にアクセスできる環境
館の重点取組	(11)県史編さん収集資料の整理及び公開
参考：事業体系の位置付け	県史編さん収集資料の公開、情報発信
重点施策・事業名	県史編さん収集資料の公開・広報・普及
現 状 ・ 課 題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県史編さん収集資料(写真資料)の公開準備 ・ 近代資料の整理 ・ 管理システム(データベース)への登録 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料所蔵者情報の確認が困難である。 ・ 目録作成や「資料紹介」に利用する資料の解読など、資料の広報に多くの時間を要する。 ・ 資料利用の手続きが煩雑のため、利用を諦める利用者もいる。
施策の目的・内容・ 方向性・計画等	<p>方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 写真資料や文書資料の公開により利用者からの問い合わせが増加しており、主に自然災害誌に掲載した写真資料と布達(明治初期の行政命令)の公開申請を行う。 ・ 資料の利用手続きを簡略化の方法を検討する。
達 成 目 標 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料の公開により、資料の閲覧・利用が増加する。 ・ センター内公開及びインターネット公開資料 100点、資料の利用件数 150件。
備 考	

令和3年度重点施策評価書	
調査課 歴史文化情報センター	
自己評価	<p>(目標に対する実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1月末現在のセンター内及びインターネット公開資料は169点であり、目標の100点を上回った。 ・ 1月末現在の資料の利用件数は133件であり、年度内には目標の150件を達成する見込みである。 ・ 県史編さん時に登録された所蔵者情報が更新されていない(確認できていない)ので、継続して確認する必要がでてきた。
A・B・C・D	<p>(今後の方向性・分析等)</p> <p>【方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 布達資料は順調に公開できているため、目録作成と公開申請の業務を継続する。 ・ システム登録できていない『静岡県史』の情報を登録する。 ・ 寄贈資料または当センター保管資料を利用した情報発信(授業の種や歴史散歩など)を進める。 <p>【分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用件数は目標に届かなかったが、一人当たりの資料件数は増加した。利用件数が減少したのは、コロナのため例年より来室者が減り、センター内での資料閲覧・複写が減ったことが要因である。 ・ 利用者から「インターネットで閲覧できる資料を増やしてほしい(カラー)」という要望があった。可能な範囲で公開資料を増やす。
外部評価	(御意見等)
A・B・C・D	

【参考】静岡県立中央図書館及び県内公立図書館に関する数値指標

項目	単位	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度 〔12月末 現在〕	備考	担当課
【本館】						
開館日数	日	308 (304)	289 (122)	241	()はグランシップ えほんのひろば	資料
入館者数	人	167,292	121,793	123,280		資料
新規登録者数	人	1,857	1,737	1,687		資料
貸出人数	人	20,681	20,755	18,091		資料
個人貸出数	点	108,342	115,161	97,149		資料
うち遠隔地貸出数	点	8,043	8,077	8,466		企振
協力貸出数	点	6,871	6,388	5,103		資料
レファレンス数	件	4,181	6,722	4,567		調査
うち静岡県関係	件	1,113	1,950	1,304		調査
うち図書館から	件	31	91	122		調査
図書資料数	点	872,562	889,700	-	年度単位集計	資料
うち地域資料数	点	146,904	149,355	-	年度単位集計	資料
視聴覚資料数	点	14,533	15,241	114	電子・マイクロ含む	資料
逐次刊行物タイトル数	点	9,811	9,829	9,846		資料
オンラインDB利用数	回	1,407	1,711	1,374	ログイン数	調査
公立図書館職員研修受講者数	人	626	493	395	R2 関プロ研修含む	企振
	回	-	2,220	861	研修動画再生回数	企振
ウェブサイトアクセス数	千件	8,718	12,918	10,995		企振
来館者アンケート満足度	%	91.0%	89.9%	79.7%	項目平均	企振
【歴史文化情報センター】						
入室者数	人	201	179	114		歴文
資料利用件数	件	200	182	127	複写及び資料出納の 申請者を件数で計算	歴文
資料掲載等許可件数	件	40	44	31	資料掲載申請者を件 数で計算	歴文
レファレンス件数	件	195	201	114		歴文
【県内公立図書館】						
登録者数	千人	1,839	1,818	-	川根本町文化会館図 書室分を含む 年度単位集計	企振
蔵書冊数	千冊	14,754	14,693	-	年度単位集計	企振

令和4年度の基本方針と**主要施策**重点取組について (案)

(静岡県立中央図書館)

令和3年度	令和4年度 (案)
1 当館の基本方針と中期計画	1 当館の基本方針
(1) 基本方針	(削除)
<p>○県民の生涯学習の拠点としての図書館</p> <p>○市町立図書館のための図書館</p> <p>⇒県民の教育及び文化の向上に寄与する</p> <p>○資料情報センターとしての図書館</p> <p>～県民の「調べる、考える、解決する」を支援する～</p>	(同左)
(2) 中期計画2018-2021 より身近な図書館へ	(削除)
<p>【基本的な役割】</p> <p>○県民の力となり、地域の発展に寄与します。</p> <p>【3つの活動】</p> <p>○県立図書館ならではの資料とサービスを通じて、すべての県民の「知る」「学ぶ」を支えます。</p> <p>○県内図書館サービスの充実のため、県域すべての図書館をつなぎ、支援します。</p> <p>○資料と情報を県民の財産として収集・活用し、未来へつなげます。</p>	
2 令和3年度重点取組	2 令和4年度主要施策
(1) 新県立中央図書館整備への対応	(1) 新県立中央図書館整備への対応
<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育課等と連携し、新県立中央図書館整備に関わる作業を進めます。 ・職員間で様々な情報を共有して、新館づくりに積極的に関わり、多くの人から待ち望む新県立中央図書館づくりに取り組みます。 ・新県立中央図書館へのロードマップ (行程表) <u>作成に向けた情報収集と検討を行います。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育課等と連携し、新県立中央図書館整備に関わる作業を進めます。 ・職員間で様々な情報を共有して、新館づくりに積極的に関わり、多くの人から待ち望む新県立中央図書館づくりに取り組みます。 ・新県立中央図書館へのロードマップ (行程表) に基づき、計画的に新館への移行準備を進めます。
(2) 現有施設における最良のサービス展開	(2) 現有施設における最良のサービス展開
<ul style="list-style-type: none"> ・施設面・システム等を含め安全・安心な環境整備に配慮します。 ・現有施設において、新館を見据えつつ、<u>入館者数や貸出数等も意識し</u>、利用者が満足できる各種サービスの改善・向上に取り組みます。 ・障害があるなどの理由で利用に困難の方に対するサービスの改善・向上に取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設面・システム等を含め安全・安心な環境整備に配慮します。 ・現有施設において、新館を見据えつつ、(削除) 利用者が満足できる各種サービスの改善・向上に取り組みます。 ・障害があるなどの理由で利用が困難の方に対するサービスの改善・向上に取り組みます。 ・電子図書館サービスの充実を図るな

	<p>ど、図書館DXを進め、新館を見据えたより利便性の高いサービスの在り方を検討します。</p>
<p>(3) 職員の資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県立中央図書館職員としての専門性を高め、力量を向上させるため、<u>(追加)</u>館内研修の実施及び外部研修への積極的な参加を組織的・計画的に行うとともに、研修報告会や館内・館外の研修・講座の講師を務めることで、その成果の普及を図ります。 ・ 館内ワーキンググループや担当職員を中心に、新規事業の立ち上げや従来の事業の改革等につながる図書館サービスの研究開発に取り組みます。 	<p>(3) 職員の資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県立中央図書館職員としての専門性を高め、力量を向上させるため、「県立中央図書館司書育成指針」に基づき、館内研修の実施及び外部研修への積極的な参加を組織的・計画的に行うとともに、研修報告会や館内・館外の研修・講座の講師を務めることで、その成果の普及を図ります。 ・ 館内ワーキンググループや担当職員を中心に、新規事業の立ち上げや従来の事業の改革等につながる図書館サービスの研究開発に取り組みます。
<p>(4) 県域全体への広報とサービス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当館が県域全体で多くの県民に活用されるよう、県教育委員会や知事部局との連携や支援に努めるとともに、レファレンスサービスや市町立図書館を通じての資料提供などを積極的に広報し、認知度の向上を図ります。 ・ 県域サービスの拡充のため、協力貸出及びインターネット予約による市町立図書館等受取りサービスにおいて市町立図書館等とさらなる連携に努めるとともに、県域サービスの充実に向けての、今後の方向性を検討します。 	<p>(同左)</p>
<p>(5) 県内図書館のさらなる活性化への寄与</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内図書館職員の資質向上のため、研修内容の充実や運営手法の工夫に努め、職員研修の充実を図ります。また、研修に参加できなかった県内図書館職員に対しても、可能な限り研修の資料等を提供し、情報の共有を図ります。 ・ 市町立図書館の課題解決を支援する要請訪問を実施するとともに、市町立図書館への情報提供の充実を図ります。 ・ 県内図書館の振興のため、県図書館協会と連携し、各図書館が協力し合い、本県の図書館活動がさらに活発化するようリードします。 	<p>(同左)</p>
<p>(6) レファレンス・課題解決支援サービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員がレファレンス技術の向上に努め、組織全体のスキルを高めることで、レファレンスサービスの充実を図ります。 	<p>(同左)</p>

<ul style="list-style-type: none"> レファレンス、講座や研修を通じて、県民、県内図書館職員、教職員等に、オンラインデータベース等、多様な情報ツールの活用を促進し、課題解決支援サービスを充実します。 課題解決支援サービスの一つである「健康医療情報サービス」については、館内横断的な組織を中心に、県民の健康・医療に関するニーズに応えることができるよう関係コーナーやWebページ等の充実を図るとともに講演会等の関連事業にも積極的に取り組みます。 	
<p>(7) 子どもの読書活動推進への寄与</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの読書活動を支える方々をはじめ多くの利用者に子ども図書研究室の資料が有効利用されるように選定資料リストの公開、資料の市町立図書館貸出、子ども図書研究室の団体利用促進及び日曜開室の推進等に取り組みます。 子どもの読書活動推進に関する講演会、新刊サロン、新刊児童図書巡回展示研修会の充実を図るとともに児童サービスの講師派遣事業に取り組みます。 新館に向けて、子ども図書研究室の存在を意識した子どもコーナー「どんぐりひろば」の運営に取り組みます。 	<p>(7) 子どもの読書活動推進への寄与</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの読書活動を推進するため、子ども図書研究室の有効活用を図るとともに、講座・研修会等の充実に取り組みます。 新館での子ども図書館を見据えて、子ども図書研究室と子どもコーナー「どんぐりひろば」を連携させた運営の在り方を研究します。
<p>(8) 専門書を中心とする資料収集と地域資料の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般資料については、専門書を中心に計画的かつ精選した資料収集に努めます。 地域資料については、静岡県内に関連する資料を網羅的に収集することに努めます。 資料費予算の確保に努めるとともに、市町立図書館との役割分担を考慮し、その予算を有効に執行します。 	(同左)
<p>(9) 資料保存と貴重書等のデジタル化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 未来の県民のために資料を着実に保存します。また、館外保管している資料の維持管理にも配慮します。 地域資料を含む貴重書等のデジタル化を推進し（ふじのくにアーカイブの充実）、それら資料の利活用の促進に努めます。 資料の修復や保存のための媒体変換（デジタル化ほか）に取り組みます。 	(同左)
<p>(10) 特色ある展示・企画等の実施、葵レク（図書館講座）の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部機関・団体と積極的に連携し特色ある展示を行います。また、団体・個人を問わず、図書館や活字文化の振興を支えてくださる方々と力を合わせて、 	(同左)

<p>幅広い分野で協働できるよう努めます。</p>	
<p>(11) 県史編さん収集資料の整理及び公開 ・ 県史編さん収集資料目録の作成及びデータベース化、「静岡県史」の検索システムへの入力などに計画的に取り組み、公開に向けた作業を進めます。</p>	<p>(同左)</p>